



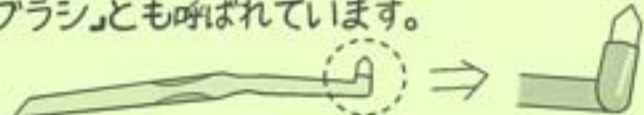
皆さん、こんにちは! いかがお過ごしですか?
くまさんデンタルクリニック、院長の北澤和也です。

口腔清掃の基本用具と言えば歯ブラシ。歯ブラシ以外は使ったことがない方も多いかも知れません。歯周病やむし歯が歯ブラシだけで予防できればよいのですが、実際には歯ブラシではきれいにできない場所がたくさんあります。そのため歯間ブラシ、デンタルフロス(糸付きようじ)、舌ブラシ、スポンジブラシ、入れ歯用ブラシなど、様々な補助清掃用具があります。口の状態に合わせて適した用具で清掃すると、驚くほどきれいに磨くことができます。そこで今回は、「タフトブラシ」を取り上げてみたいと思います。認知度が低く、ドラッグストアやスーパーでもなかなか置いてませんが、これはかなりの優れものです!

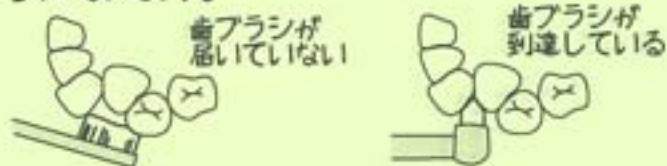


🏠 タフトブラシってなあに?

タフトブラシとは、柄の先端に円すい状に形成されたブラシが付いていて、「1本ブラシ」「ポイントブラシ」とも呼ばれています。



歯ブラシでは磨くことができない部位まで簡単に毛先を到達させることができるように作られています。いつも磨き残しが気になる部分に使えば、歯がツルツルするほどきれいになるのが実感できるはず。狭い部位でもピンポイントで磨くことができます。例えば、歯列矯正の矯正装置やその周囲を磨くのに適しているのによく用いられています。



それでは、要介護者の場合にタフトブラシで清掃するのに適しているケースをご紹介します!

🏠 こんな部位におすすめ!!

① 歯ぐきが下がって歯根が露出している部分は普通の歯ブラシでは汚れを落とすににくいので、タフトブラシが便利です。歯と歯ぐきの境目もきれいにします。



② 次は孤立歯。普通の歯ブラシでは腹の部分が咬合面等にぶつかり奥面(遠心面)が磨きにくいのですが、タフトブラシの斜めに形成されている部分が奥面の汚れもきれいに落としてくれます。



③ 歯ぐきに根っこだけが埋没するような形で残っている残根は歯ブラシが届きにくく、しかもその表面の溝は複雑で清掃するのがやっかいです。こんな部位にもタフトブラシがとても重宝します。



◆ お口の中の状態に合った清掃用具を用いることがお口の健康を保つ秘訣です ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって



ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療の問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」と話をしていただけなのに・・・。そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

くまさんデンタルクリニック

診療時間 平日9:00~19:30 土・日9:00~13:00

診療科目 一般歯科 小児歯科 予防歯科
訪問歯科

休診日 火・祝日 院長 北澤 和也

市原市白金町3-4-4

☎0436-26-3666 📠0436-26-3667

http://www.kumasan-dent.com